

【五城目町】 校務 DX 計画

令和 6 年 4 月から、秋田県が主導して全県域での統一を図っている校務支援システムを導入した。通知表や指導要録の作成機能や、校内およびシステム導入市町村の教職員間の連絡機能、出勤簿や保健管理システムと連動した児童生徒の欠席・早退等の連絡機能等を活用するとともに、他校から異動した教職員が従来と同様の方法で校務処理を行える体制を整えることで、教職員の負担軽減を目指した。

今後も、教職員が更に使いやすく負担の少ない校務 DX を推進するために、導入済みの校務支援システム利用方法の周知や、校務支援システムの導入に伴って使用が可能となったソフトウェアの活用を推進する。また、セキュリティが確保されたクラウド型校務支援システムの導入を契機として、テレワークをはじめとした、個々の教職員の事情に応じた柔軟な働き方を実現できるよう、ICT 環境や規則等の再検討および整備を進めていく。保護者への対応についても、迅速かつ手軽に、複数の保護者へ情報を提供できる機能の活用を進め、よりきめ細やかな対応の実現を目指していく。教員の ICT 利用を委員会としてサポートしていくことで、デジタル技術を日々の業務に定着させていきたい。

教育委員会と学校との事務に関する DX 推進については、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」の自己点検の結果等を踏まえ、事務処理の再検討を進め、押印の省略や会議資料等の電子媒体による共有、FAX による連絡の電子メールへの切り替えをはじめとしたペーパーレス化を進めるとともに、手作業によるデータ入力作業を、可能な限りソフトウェア等を活用して自動化を図ることで、事務の簡略化および省力化を目指す。